

～家族と暮らしを守る～

防災アイデア 6



いっどこで起こるかわからない災害に備えて、
主婦で看護師で防災士の「おさかおさん」が教えてくれる防災アイデア。
大切なご家族を守るためにも、ぜひお役立てください。

やって
みよう! /

災害発生後の大事な情報源「ラジオ」を身近に

停電が起きても
ラジオが身近にあれば
情報収集に役立ちます!

『おさかおさん』こと **長田 香** さん
主婦／看護師／防災士



阪神・淡路大震災をきっかけに家族を守るため「防災」をはじめ。暮らしの中の防災をテーマにしたセミナーの開催やブログで身近な防災を伝える活動を展開している。合言葉は「助かるために行動しよう!」

©主婦防災士おさかおのブログ～助かるために行動しよう～
<https://ameblo.jp/tosakao/>

防災アイデア第6回は、「ラジオ」です。通常はスマホやテレビから情報を得ることが多い私たちですが、災害が発生して停電になってしまうと、それらを頼れなくなってしまう。ラジオは電池式タイプも多いので、停電に強いツールです。普段はACアダプターに繋いでおいて停電時は電池で使えるものや、手回し充電やソーラー充電が併用できるものなど複数の電源が使える製品を選びましょう。また、いざというときに持ち出しやすいという点もポイント。災害時に問題となるデマに惑わされないためにも、ラジオで公的な情報を集めることも大切です。自治体によっては防災無線を受信できる防災ラジオを戸別配布している場合がありますので、お住いの自治体の体制をホームページなどで確認してみてください。

ラジオ選びの3つのポイント

- ① 複数の電源で使えると心強い
- ② ワイドFM対応だと聴きやすい
- ③ 持ち出し用には小型でイヤホンジャックがあると良い



災害時の情報収集のための5つのポイント

- ① ラジオを身近に置いておく
- ② 災害発生直後は情報が少ないことを自覚しておく
- ③ 公的な情報をもとに行動するように心がける
- ④ ネットのデマに注意する
- ⑤ 被災地から離れた友人や親戚からも情報を得る



まとめ

災害時は正確な情報をもとに安全に行動することが大切です。ラジオは停電にも強く情報収集のエースです。ぜひ身近に置いておいてください。使い方の確認や電池の備蓄もお忘れなく!